



● 醍醐山名所図絵 吉田初三郎筆
大正時代末～昭和時代初期

初公開

／ 横幅約 4.5m の大作！

醍醐寺境内のみならず、北は北海道や樺太、南は上海や台湾まで描かれている。

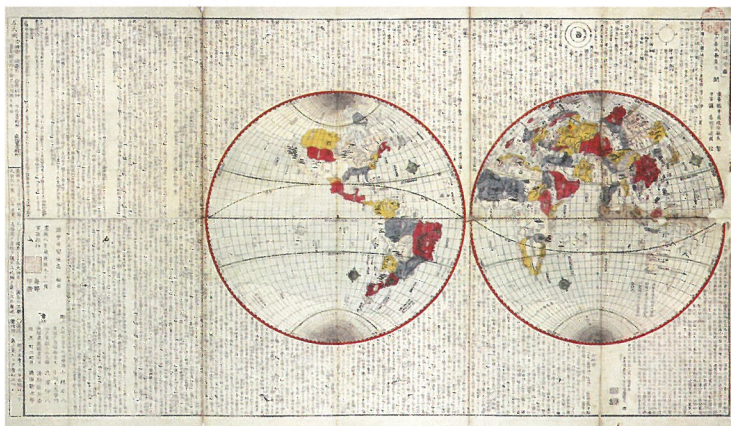


最近、道路地図や地図帳など、紙を媒体とした地図を目にする機会が少なくなりました。ひと昔前までは、車を運転する時など、知らない場所に行くには紙の地図が必要不可欠でした。しかし、今ではカーナビやスマホという便利なアイテムのおかげで、迷うことなく目的地に行くことができます。まさにスマホを片手に世界を旅するような時代！ですが、スマホの画面には、やはり「地図」が現れています。それでは、醍醐寺霊宝館が開館した90年前、またそれ以前はどうだったのでしょうか？今回、醍醐寺所蔵品の中から地図をキーワードに、旅の道しるべとなるもの、後世に残さなくてはならない場所が記されたもの、また、その場所の特徴や特色が風刺画として描かれたものなどを厳選しました。当時の人々が、まだ見ぬ目的地を前に不安や希望、憧れなどさまざまな思いを抱き旅した行程を思い浮かべ、また、昔と今の町並みや風景、人々の様子の違いも探しながら、展示の中で旅を楽しんで頂けたらと思います。

昔も今も地図頼み

● 国宝 地球全図 江戸時代

地図の周りには、蘭学者・橋本宗吉によるアジア、ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカについての解説が。



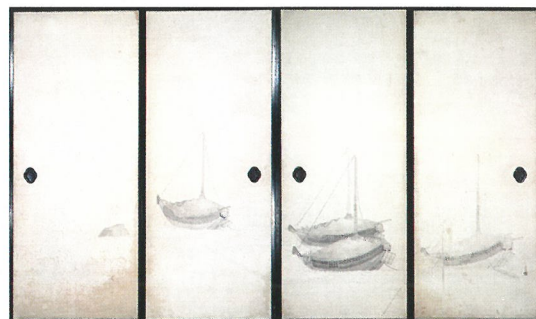
● 五十三駅図 伝岩佐又兵衛筆 江戸時代

各宿場町の特徴ある街並みと、行き交う人々の生き生きとした様子が描かれている。



● 京都市指定文化財 泊船図 呉春筆 江戸時代

米1000石（約150トン）を積載することができる通称「千石船」を描く。



● 海路之図 江戸時代

航路沿いに目印となる港や城など、町並みが地名とともに描かれている。本図2巻のうち1巻目は、大阪より瀬戸内海を通り赤間関（下関）までの海路図。

初公開



○ アクセス



【 拝 観 料 】 大人 600 円、中高生 400 円、小学生以下無料
※三宝院・伽藍は別途拝観料必要

【 アクセス 】

・市営地下鉄東西線「醍醐」駅下車、2番出口より徒歩約10分
・京阪バス22A/22B「醍醐寺前」、301「醍醐寺」下車すぐ

〒601-1325 京都市伏見区醍醐東大路町22

TEL 075-571-0002

世界文化遺産 World Cultural Heritage Daigoji Temple

総本山 醍醐寺

醍醐寺
ホームページ

